

# 第2回

## 説明文・論説文 文章の流れ

——五十音図・国語辞典の使い方／かなづかい・送りがない

### 例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

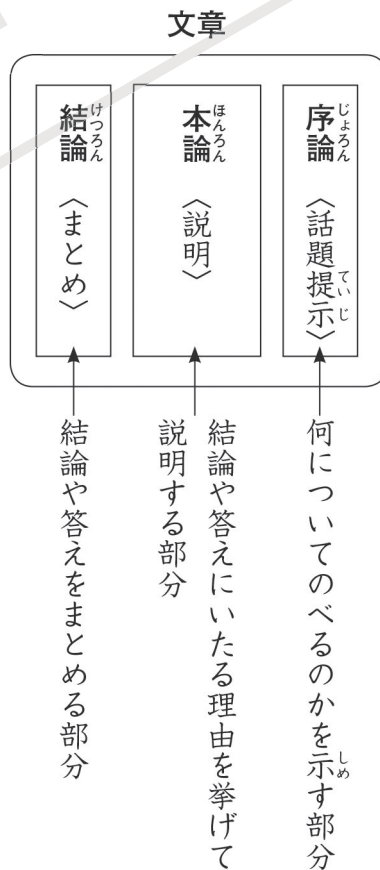
### ねらい

- ・文章の流れをとらえ、話題をつかむ。
- ・指示語・接続語の働きと、その性質をとらえる。
- ・国語辞典の使い方とかなづかい・送りがないのルールを覚える。

### 学習の要点

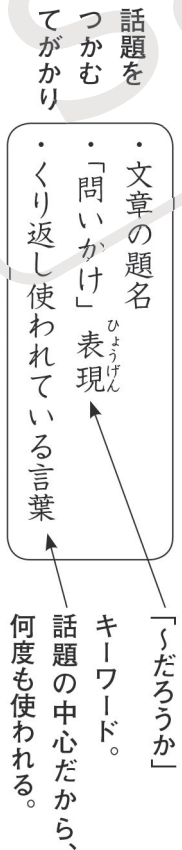
#### ① 文章の流れ

説明文・論説文の多くは次のような流れになっています。



#### ② 文章の流れのとらえ方

##### ① 話題をつかむ



##### ② 文章のすじ道をつかむ…文と文のつながりや関係をおさえる。

指示語…主に前に出てきた内容を指す。  
↓ 指す内容は、指示語に置きかえて読むことができる。  
接続語…前の文と後の文の関係を表す。

逆接の接続語  
逆接の後には、重要な内容が多い。  
←  
しかし、ぼくはCと考えている。

(注) 鼻白む：いやな気持ちになる。

(野村雅一「しぐさの人間学」より)

問一 この文章の話題を「〜について」に続くように文章中から五字で書きぬいて答えなさい。

\_\_\_\_\_ について

問二 線「そんな顔」が指す言葉を、文章中から二つ、それぞれ十一字で書きぬいて答えなさい。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

問三 [1]・[2]にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア つまり イ ところが ウ だから
- エ また オ たとえば

\_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_

問四 この文章の内容として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア イタリアでは、「道聞かれ顔」という言葉はだれでも知っている。

- イ 日本でもイタリアでも、都会では、道を聞いてもほとんどの人が「知りません」と答える。
- ウ 日本とちがい、イタリアの街には、道に迷っても「教えてあげよう」という顔があふれている。
- エ イタリアのヴェテルボの人はのんびりしているが、ローマの人は忙しそうにしている。

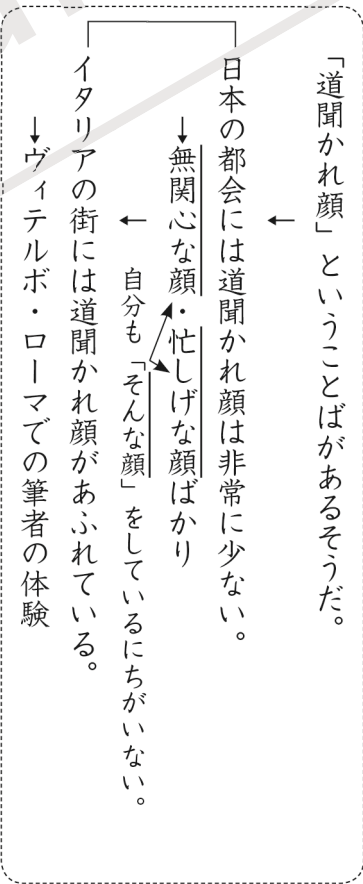
\_\_\_\_\_

**考え方**

説明の接続語 ← 前の文の内容を言いかえている。  
 ・ぼくはCを選んだ。 [つまり]、Cが最も重要なことだ。

問一 問いかけの文は見あたりませんが、最初の一文目で提示された「道聞かれ顔」という言葉が、その後もくり返されています。

問二 指示語の内容はすぐ前からさがします。指示語の内容を確認しながら、文章の流れをとらえましょう。



問三 前の段落の内容と接続語の後に続く内容が、どのような関係かを考えましょう。

- ・日本の都会には道聞かれ顔は非常に少ない。
- ・ [1] イタリアの街には道聞かれ顔があふれている。  
 → 前の内容と後の内容が対立するときの接続語
- ・ ヴェテルボの道聞かれ顔の三人組がすぐに教えてくれた。
- ・ [2] ローマでもテキパキと教えてくれた。  
 → 同じような例を対等に並べるとき接続語

問四 文章の流れをとらえていねいに読み取ることができたかを問う問題です。この文章は、道を聞いたときの反応について、日本とイタリアを比較して説明しています。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 岩井克人「おカネとコトバと人間社会」より

ニューロン：いたみなどの刺激を脳などに伝達する神経の細胞。

アインシュタイン：ドイツ生まれの物理学者。

レオナルド・ダ・ヴィンチ：イタリアの芸術家、科学者。

□ 定番問題

1・2 にあてはまる接続語を次の中から選び、

それぞれ記号で答えなさい。 **接続語**

- ア つまり
- イ だから
- ウ それとも
- エ ところで
- オ ところが

1	2
---	---

□ 問一 この文章の話題を「〜について」に続くように、文章中から七字で書きぬいて答えなさい。 **話題**


について

60

55

□ 問二 — 線①「それ」が指す言葉を、文章中から五字で書きぬいて答えなさい。 **指示語**


□ 問三 — 線②「生物学や生命科学でもきちんと説明することはできません」とありますが、それはなぜですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から七字で書きぬいて答えなさい。どのようものが価値を持つおカネになるかの情報は、□。


□ 問四 — 線③「それ」が指すのは、何ですか。文章中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。 **指示語**


□ 問五 この文章の内容として合うものを次の中から選び、記号で答えなさい。 **文章の流れ**

- ア おカネやコトバは、物理的に大きな意味を持っているので、人の心を動かすものである。
- イ おカネやコトバは、生物学や生命科学では説明できないが、物理学では説明できるものである。
- ウ おカネやコトバは、右脳と左脳がバランスよく使われてはじめて働くものである。
- エ おカネやコトバは、遺伝子に関係なく、人から人へと受け渡されていくものである。

--

## 2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(河合隼雄「おはなしの知恵」より)

(注) ロマン主義：十八世紀末から十九世紀にかけての精神運動。この時代に「ロ

マンズ(恋愛小説)」という言葉が生まれた。

富国強兵：国を豊かにし、兵力を強めること。

国定国語教科書：国が編集・発行した教科書。現在は「検定済教科書」

を使用している。

比肩：同等であること。

軍閥：軍事力を背景に政治的権力をもった勢力。

問一 — 線①「日本人は老人が好き」とありますが、どのような

事実から筆者はそうのべているのですか。文章中の言葉を使っ  
 て、二十字以内で答えなさい。(話題)


問二 \* においてはまる言葉として最もふさわしいものを次の中

- ア 知らせ      イ 幸運  
 ウ おくり物      エ 不幸

問三 1・2 においてはまる接続語を次の中から選び、それ

ぞれ記号で答えなさい。(接続語)

- ア しかし      イ そして      ウ ところで  
 エ つまり      オ それとも



問四 — 線②「それ」が指すのはどんなことですか。文章中の言

葉を使って、二十五字以内で答えなさい。(指示語)


問五 — 線③「日本が桃太郎にはわかに注目されることになっ

た」とありますが、桃太郎のどんな点が時代に受け入れられた  
 のですか。次の中から選び、記号で答えなさい。

(文章の流れ)

- ア 西洋の典型的な昔話のように、勇ましい男性の、自我の確  
 立の過程を象徴的に表している点。  
 イ 西洋的な英雄像に負けない、勇ましい男性の物語であり、  
 最後は若者の孝行の話になる点。  
 ウ 桃から生まれた桃太郎という、極めて特殊な人物を主人公  
 とする、想像力あふれる物語である点。  
 エ 桃太郎という勇ましい若い男性を主人公としながら、老人  
 が大いに活躍する昔話である点。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50 45 40 35 30 25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(柳澤桂子「生命の不思議」より)

65

60

55

問一 ①で囲んだ部分は、話題のまとまりによって大きく三つの

意味段落に分けることができます。二つ目、三つ目の意味段落の初めの十字を、文章中からそれぞれ書きぬいて答えなさい。

話題

二つ目	
三つ目	

問二 ①③にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

接続語

- ア また
- イ たとえば
- ウ あるいは
- エ しかし
- オ そして
- カ なぜなら

1	2	3
---	---	---

問三 線①「南極の冬の一番寒い季節」とありますが、コウテイ

ペンギンが、このような季節に卵を産んで温めるのは、何のためだと筆者は考えていますか。文章中の言葉を使って、二十文字以内で答えなさい。

文章の流れ


問四 線②「そのような」が指す内容を次の中から選び、記号

で答えなさい。

指示語

- ア 雄が何も食べずに長い間卵を温めつつける
- イ 雌と雄が交代して遠く離れた海まで行き雛の餌をとる
- ウ 餌のある海水面から離れたところで子供を育てる
- エ 一二月に雛の羽が生えそろう独立の準備ができる

--

問五 線③「過酷な生活条件」とありますが、コウテイペンギン

がすむ南極という過酷な地を、筆者がほかの言葉で表現している部分をさがし、文章中から五文字以内で書きぬいて答えなさい。

--



次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

50

45

40

35

30

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) のりと…神を祭り、神に祈るときに唱える古い文体の文章。  
 (浅田秀子「日本語にはどうして敬語が多いの？」より)

問一 ー 4 にあてはまる言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は二度使えません。

- ア また イ ところが ウ そして  
 エ なぜなら オ すると カ だから

接続語

1	2	3	4
---	---	---	---

問二 ー 線①「親しい人に敬語をつかうと、なんだか他人行儀な感じがする」のは、なぜだと書かれていますか。「日本語の敬語には、く」という形で四十字以内で答えなさい。


問三 ー 線②「この子どもはどうして、自分が話しかけられているのがわからなかったのでしょうか」とありますが、その理由としてふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 初対面の外国人が自分に話しかけてくるはずがないと思っ  
 たから。

問四 ー 線③「のりと」に敬語を多く使い、神様を尊敬する気持ちが伝わるように工夫したのは何のためだと書かれていますか。文章中の言葉を使って十五字以内で答えなさい。

- イ 声が小さいので、まさか自分に話しかけているとは思わなかったから。  
 ウ 外国人がまさかドイツ語で話しかけてくるはずがないと思  
 いこんでいたから。  
 エ 目上の人を使うはずの「ズイー」という言葉で話しかけられたから。

文章の流れ


問五 ー 線④「神様をよぶのに、『ズイー』でなくて『ドゥー』をつかうというのは、いったいどういうことなのでしょう」とありますが、筆者は、その理由をどのように考えていますか。「ドイツでは、く」と考えられているから。」という形で五十字以内で答えなさい。

文章の流れ


●五十音図

五十音図は、かなを五字ずつ十行にならべたものです。たての列を「行」といい、横の列を「段(列)」といいます。

〔清音〕五十音図とは、この「清音」の表のこと。

行									
あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	り	る	(ゐ)
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	ル	(#)
え	け	せ	て	ね	へ	め	れ	(ゑ)	
お	こ	そ	と	の	ほ	も	ろ	(え)	
オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ	を	ラ

↑「る・キ」「ゑ・エ」は、「い・イ」「え・エ」と同じ音。昔は使っていたが、今は使わない。

〔濁音〕									
が	ぎ	ぐ	げ	ご	だ	ぢ	ぢず	ぜ	ぞ
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぢ	ぢ	ぢ	ぢ	ぢ
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	づ	づ	づ	づ	づ

〔拗音〕											
きゃ	きゅ	きよ	しゃ	しゅ	しよ	ちゃ	ちゅ	ちよ	にゃ	にゅ	によ
ぎゃ	ぎゅ	ぎよ	じゃ	じゅ	じよ	ぢゃ	ぢゅ	ぢよ	ぢゃ	ぢゅ	ぢよ
りゃ	りゅ	りよ	みゃ	みゅ	みよ	みゃ	みゅ	みよ	りゃ	りゅ	りよ

●国語辞典の使い方

国語辞典は、言葉の意味や、その言葉の使い方を調べるときに使います。国語辞典は、次の点に気をつけて引きます。

- (1) 五十音順に引く。(清音→濁音→半濁音の順にならんでいます。)
- (2) 言い切りの形で引く。(活用のある言葉の場合)
- (3) 文章中でふさわしい意味を選ぶ。(一つの言葉でいくつも意味がある場合)

●かなづかい

発音どおりに書きますが、次のような例外もあります。

- (1) 「何を・何へ・何は」の「を・へ・は」は「オ・へ・ワ」と書きますが、「お・え・わ」とは書きません。

例 絵をかくのが好きです。ぼくは図書館へ行きました。

- (2) 「ジ・ズ」には、「ぢ・づ」と書くものがあります。

例 ちぢむ つづる はなぢ(鼻血) みかづき(三日月)

- (3) 長音(のばす音)の書き方。

① 「アイウエ段」の長音は、「あ・い・う・え」をつけます。

例 おかあさん にいさん くうき ねえさん

② オ段の長音は「う」をつけるが、「お」をつけるときもあります。

例 おとうさん おおい(多い) こおり(氷) おおやけ(火)

●送りがない

- (1) 動詞は原則として、活用する部分から送ります。

例 食べない 食べます 食べる 食べれば 食べる

- (2) 「しい」で終わる形容詞は、「し」から送ります。

例 美しいとき 美しく 美しくろう 美しくった 美しい

例 美しいとき 美しくければ

- (3) 「か」「やか」「らか」をふくむ形容動詞は、「か」「やか」「らか」から送ります。

例 かから送ります。

例 静かだ 健やかだ 清らかだ

- (4) 活用のある語から名詞になったものは、もとの語の送りがないのつけ方にしたがって送ります。

例 初め 近く 寒さ 重み

- (5) 読みまちがえやすいものには、送りがないをつけます。

例 後ろ 幸い 幸せ 半ば 自ら

問一

次の問いに答えなさい。  
 (1) さ行の五字をひらがなで答えなさい。


(2) さ行の拗音の三つをひらがなで答えなさい。


(3) う段の九字をひらがなで答えなさい。


(4) は行の濁音五字をカタカナで答えなさい。


(5) は行の半濁音五字をカタカナで答えなさい。


問二

次の言葉は、国語辞典で引くと、どのような順で出ていますか。  
 例にならって( )に番号を書きなさい。

(2)	例								
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
風景	風圧 <small>ふうあつ</small>	風雨	風害	風化	えどっこ	えど	えどじだい	えと	えとく
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
					5	2	4	1	3
					( )	( )	( )	( )	( )

	(3)		(1)						
オ	エ	ウ	イ	ア	オ	エ	ウ	イ	ア
ベル	減 <small>へ</small> る	ペランダ	ペルー	部屋	着 <small>き</small> がえ	機械	議会	記 <small>し</small> おく	気 <small>き</small> 温
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

問三

次の文の——線部の言葉を、国語辞典で調べるときの言い切りの形に直してひらがなで書きなさい。

- (1) 約束の時間に間に合うように、近くの駅まで走はった。
- (2) 西にせずむ太陽が、とても大きく見えた。
- (3) 弟は下を向いたままで、泣なきながら歩いてた。
- (4) あの人はとてもおくゆかしく、わたしは好感がもてた。

(1)
(2)

(3)
(4)

問四

次の(1)・(2)の語を国語辞典で引くと、ア、オの意味があります。それぞれ下の短文の——線部の意味として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

(2)	(1)						
引く	早い	ア	イ	ウ	エ	オ	ア
		取り出す。	時刻 <small>じこく</small> が前である。	時間がたっていない。	順序 <small>じゆんじゆ</small> が先である。	まだそのときでない。	近 <small>ちか</small> よせる。
		広げる。	時間がたっていない。	時間がたっていない。	順序 <small>じゆんじゆ</small> が先である。	まだそのときでない。	取り出す。
		ひきつける。	ひきつける。	ひきつける。	ひきつける。	ひきつける。	ひきつける。

(2)	(1)		
①	①		
□	□		
②	②		
□	□		
③	③		
□	□		

①	なべに油を引く。
②	同情 <small>どうじやう</small> を引く。
③	くじを引く。

①	普段 <small>ふだん</small> より朝が早い。
②	昼食には早い。
③	生まれが一月早い。

問五 次のうち、かなづかいの正しい方を選び、記号で答えなさい。

- (1) ア おねいさん  
イ おねえさん
- (2) ア おおきい  
イ おうきい
- (3) ア いたずら  
イ いたづら

- (4) ア かなづち  
イ かなずち
- (5) ア じめん  
イ ぢめん
- (6) ア づめん  
イ ずめん

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)

問六 次の漢字のかなづかいに注意して、線の読みがなをひらがなで書きなさい。

- (1) 氷菓子 (2) 王子  
(4) 小包み (5) 遠い (6) 弟
- (3) 身近

- (1)
- (2)
- (3)

- (4)
- (5)
- (6)

問七 次の文中の□にあてはまるひらがな一字を答えなさい。

- (1) あまりのおそろしさに、身がち□む思いがした。
- (2) 父は、ね□りハチマキをして、日曜大工をした。

- (3) 山道で石につま□いて転んでしまった。
- (4) 旅行の日が近□くにつれ、心が落ちつかなくなってきた。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

問八 次のうち、送りがなの正しくつけられているものを選び、記号で答えなさい。

- (1) ア 明らか  
イ 明か
- (2) ア 導びく  
イ 導く
- (3) ア 唱える  
イ 唱なえる

- (4) ア 再び  
イ 再び
- (5) ア 結すぶ  
イ 結ぶ
- (6) ア 新しい  
イ 新しい

- (7) ア 敗ぶれる  
イ 敗れる  
ウ 敗る
- (8) ア 養しなう  
イ 養なう  
ウ 養う
- (9) ア 表われる  
イ 表れる  
ウ 表る

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)
- (9)

問九 次の文の( )にあてはまる送りがなを答えなさい。

- (1) 約束を果( )。
- (2) 災害に備( )。
- (3) 全( )知らない事実。
- (4) 新しく覚( )。
- (5) 安( )にねむる。
- (6) 冷( )ジュースを飲む。
- (7) 管理を任( )。
- (8) 起伏に富( )。

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)

問十 例にならって、漢字の二とおりの読みがなとその送りがなを答えなさい。

例 重 体重が(おも) 。  
紙を何枚も(かさ) ねる。

- (1) 覚 目が 。  
漢字を 。
- (2) 細 。  
ひも。  
砂。

- (3) 苦 葉が 。  
息が 。
- (4) 増 。  
人数が 。  
勢いを 。

★ 実戦問題

問一

次の言葉は、国語辞典で引くと、どのような順で出ていますか。下の例にならって（ ）に番号を書きなさい。

ア	使用	( )
イ	情 <small>しょうた</small>	( )
ウ	正 <small>しょうた</small> 体	( )
エ	条件	( )
オ	勝敗	( )

例				
ア	えとく	( )		
イ	えと	( )		
ウ	えどじだい	( )		
エ	えど	( )		
オ	えどっこ	( )		

問二

次の(1)・(2)の語を国語辞典で引くとア～オの意味があります。それぞれ下の短文の——線部の意味として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- (1) 開く ウ 閉とじていたのが広がる。
- ア 始める。  
イ 広げた状態じょうたいにする。  
ウ 森を切り畑はたけなどにする。  
エ 間まが大きくなる。

- (2) 読む
- ア 文字や記号の意味を理り解かいする。  
イ 書かれた文を声に出す。  
ウ 書かれた言葉を発音する。  
エ 様子から予想する。  
オ 様子から気持ちを見ぬく。

(1)	①	<input type="text"/>
(2)	①	<input type="text"/>
	②	<input type="text"/>
	②	<input type="text"/>
	③	<input type="text"/>
	③	<input type="text"/>

問三

次の文章中には送りがなが誤あやまっている漢字が五つあります。誤っている部分を書きぬき、正しく書き直しなさい。

事故じこの連絡れんらくを受けて直に、メンバーを率りつて、可能な限り短かい時間じかんで着いた。そして作業用具を整のえ、急いで救助活動を行なった。

<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>	<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>	<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>
↓	↓	↓
<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>	<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>	<input style="width: 100px; height: 60px;" type="text"/>
↓	↓	↓

問四

次の各文の——線部を送りがなを含くめて漢字で書きなさい。

(1) ククジにハズレル。  
(2) よよきにハカラエ。  
(3) コマコカイ作業が多い。  
(4) まだ道ナカババだ。  
(5) それそれはアキラカだ。  
(6) もう一度ココロミミル。  
(7) 言いいアラワセない。  
(8) 突とつ然ぜんアラワレル。

(1)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(2)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(3)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(4)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(5)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(6)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(7)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>
(8)	<input style="width: 100px; height: 100px;" type="text"/>